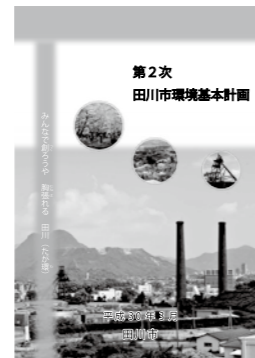


環境基本計画が進行中

市では、環境の保全・創造に関する施策を中・長期的に推進するため、平成30年に「環境基本計画」を策定。以降10年間（令和9年まで）の取り組みにより、まちを住みやすい環境にすることが目標です。

長期的目標として、次の5つの目標を掲げています。

- 1 安全で健康的な生活環境をつくる
- 2 快適でうるおいのある環境をつくる
- 3 地球温暖化対策を推進する
- 4 田川らしい自然環境を保全、活用する
- 5 環境を守り生かす地域づくりを推進する



令和元年度
施策実施率 **68%**

令和元年度の施策に対する実施率は68%。計146施策のうち、100施策を実施済みです。

令和2年度は実施率75%を目標としています。

公共施設から出る二酸化炭素を減らしています

本市は、市役所など公共施設の空調機器・照明などを省エネの設備に見直して、二酸化炭素排出量を削減してきました。さらに、平成30年度からは地球温暖化対策のための国民運動「COOL CHOICE」に賛同。職員が協力して執務室や会議室の照明をこまめに消しています。これまでの取り組みで、下表のように効果があがっています。各家庭でも照明などをこまめに消すなど、できることから取り組んでいきましょう。

二酸化炭素排出量の推移 (単位:t-CO2)

年度	排出量	前年度比
平成25年度	9,995	-
平成26年度	9,432	△ 563
平成27年度	8,166	△ 1266
平成28年度	6,708	△ 1458
平成29年度	7,268	560
平成30年度	6,671	△ 597
令和12年度目標	5,995	-



◀照明スイッチの近くに「COOL CHOICE」のステッカーを貼って啓発しています。

ごみ減量化・資源化推進検討委員会が答申

市では、平成29年度に「ごみ減量化・資源化推進検討委員会」を設置。学識経験者や行政職員、地域の代表者などが委員となり、さまざまな課題について審議してきました。

【活動経過】

平成29年度

- 二場公人市長から諮問を受ける
- 現状の課題を把握し、資源ごみ拠点回収施設の整備について審議
- ごみ分別に関する先進地として、みやま市・大木町を視察
- 平成30年3月に中間答申を行った

平成30年度

- 資源ごみ拠点回収施設の運用や食品ロスの削減を目的とした段ボールコンポストの活用について審議
- 環境学習の先進地である山口県宇部市を視察

令和元年度

- 資源ごみ拠点回収施設の開所式を実施
- 段ボールコンポストや環境学習に関して審議したほか、答申案の協議を行った

【答申】

本年3月25日、ひさながあきら 久永明委員長（福岡県立大学名誉教授・写真左）が二場市長に答申を提出しました。答申では「資源ごみ拠点回収事業、段ボールコンポスト、環境学習、見える化」啓発、施策の点検の5項目を提示。市民向けの活動として、環境学習や段ボールコンポストを利用した家庭生ごみ減量化の推進など、環境について考える機会を設け、環境に関心をもってもらえる活動を推進していくことが挙げられました。委員会の活動としては、PDCAサイクルを活用し、委員会が提案された施策の実施状況の点検などができる仕組みについて、調査・検討し、実行することが挙げられました。



資源ごみ、待っています！

—資源ごみ拠点回収施設を活用しましょう—

市清掃事務所内に「資源ごみ拠点回収施設」を開設して、約1年が経過。市民のみなさんの協力により、たくさんの資源ごみが集まっています。

「再資源化できるものは、資源ごみ回収に出す」。

普段の生活にひと手間加えることで、家庭や環境にやさしい取り組みができます。

今後も資源ごみ拠点回収施設の積極的な活用をお願いします。

資源ごみ拠点回収施設

(市清掃事務所敷地内)

受付時間 9時～16時

※毎週水・土曜日が定休日。祝日も受け付けています。

年始（1月1日～3日）は休みです。

【回収品目】

捨てる前に再確認。

再資源化できるものがたくさんあります。

- ①かん
- ②びん
- ③ペットボトル
- ④その他プラスチック
- ⑤小型家電
- ⑥水銀体温計
- ⑦乾電池
- ⑧新聞紙
- ⑨雑誌、広告類
- ⑩段ボール
- ⑪雑紙
- ⑫紙パック
- ⑬蛍光灯
- ⑭危険物
- ⑮インクカートリッジ
- ⑯古着



指定ごみ袋に入れなくてもOK!
家庭で使用する指定ごみ袋の節約になります。



1年間の回収実績

■持ち込み件数 **4,768** 件

■持ち込み総量 **44,300** kg

市民の声(利用者アンケート)

利用者アンケートを実施して、施設や運用の改善に取り組んでいます。昨年1年間のアンケートでは、利便性の高さを評価する反響がある一方で、周知を求める意見もありました。今後も積極的に利用してもらえよう、施設の周知・改善に取り組めます。

【回答を抜粋】

- 回収する場所ができて助かる。
- 回収日を待たなくていいので家が片付く。
- 利用が増えるように看板を設置してほしい。
- 施設のことを知らなかった。もっと周知が必要。

意見を反映 古着の回収、始めました。

アンケートの中で最も多かった要望は「古着の回収」。これを受け、4月から古着も回収しています。※汚れのひどいもの、ナイロンビニール製品、革製品は回収できません。



【無料】段ボールコンポストを配付します

家庭で生ごみ減量の取り組みができる「段ボールコンポスト」を無料で配付しています。

- 配付場所 市環境対策課（市役所別館1階）、資源ごみ拠点回収施設（清掃事務所敷地内）
- 対象 本市在住の人
- 配付回数 1世帯1個限り・先着順（数に限りがあります）
- 申し込み方法 配付場所で申込書を記入して提出。氏名、住所が確認できるもの（免許証など）が必要です。

